

パートナーシップNEWS



第18号 平成16年10月

発行：パートナーシップ推進課



パートナーシップ最前線！

孫への遺産・花の絨毯芝ざくらづくり ～新戸芝ざくら愛好会～

日曜日の朝8時・・・多くの家庭では、まだのんびりと休日の朝を過ごしている頃、新戸の河原では、20人ほどの男たち（屈強なお年よたち）が、土留工事で汗を流していました。



作業前の
打ち合わせ

丸太もみんな
運んで・・・



新戸芝ざくら愛好会は、相模川散策路の河岸を、芝ざくらの絨毯で埋め尽くし、孫の代まで誇れるふるさとづくりをしよう！と、集まった総勢170名ほどの会です。

新戸地区では、この新戸芝ざくらの会を中心に、新戸老人クラブ寿会連合会、新戸自治会連合会が連携してこの事業を進めています。

地元の企業も協力して・・・

平成14年から取り組まれたこの事業は、年々絨毯が伸び、今年度中に、相模川散策路の新戸側、約800mが完成する予定です。

この事業には、地元の企業が資材やユンボなどの機材を無償で提供して協力しているほか、新磯小学校の生徒が除草作業を手伝うなど、地域の様々な方々が協力しています。

また、新磯出張所が間に入りながら、みどり対策課(市)や相模川総合整備事務所(県)と連携しながら事業を進めています。



腰の入った
ひとふり！

ユンボは杭打ち、
地ならしに大活躍



広がるふるさとづくりの輪・・・

この芝ざくらの絨毯づくりは、磯部地区の河原でも連続して取り組まれる予定で、最終的には、1kmを超える芝ざくらのおびが完成することになります。

10月2日は、市長も参加して、新戸地区側の残された最後の部分と磯部地区側の一部で、挿し芽作業が行われる予定です。

来年の春には、見渡す限り芝ざくらが咲きそろうた相模川散策路が楽しめることでしょう！



この緑が春には
赤とピンクに！

地域の誇り、
相模原の誇りに・・・



* この事業は、平成16年度パートナーシップ事業助成金の交付事業です。

* 写真はいずれも、9月19日(土)に行われた土留作業の際に撮影したものです。